

第27回 南房総

人形劇フェスティバル

# 文楽



## ■『伊達娘 恋緋鹿子 火の見櫓の段』

近江国高島家の若殿左門之助が禁裏へ献上する天国の剣を紛失したため、お守役の安森源次兵衛は切腹しました。江戸吉祥院の寺小姓となって剣を探す安森の一子吉三郎は、火事で焼け出されたお七と恋仲となっていました。お七は父が店の再建のためにお金を借りた万屋武平衛を婿に迎えるければなりません。

剣詮議の期限の日、お七は剣を盗んだのが武兵衛と知ります。しかし火事後は九つの鐘（午前0時）を合図に江戸の町々の木戸が締め、通行が禁じられています。たとえ剣が手に入っても今夜中に届けることができなければ、吉三郎は切腹することになります。思いつめたお七は、火の見櫓の半鐘を打てば出火と思って木戸は開かれるのではと考えました。火刑を覚悟で、雪の凍りついた梯子を滑り落ちながらも、櫓に上ったお七は撞木を夢中で振るのでした。

## ■『増補大江山 戻り橋の段』

京都一条の戻り橋。源頼光の四天王のひとり渡辺綱が戻り橋に差し掛かると、そこに美しい女が佇んでいました。行き先を尋ねると五条までという。それでは送ろうと一緒に歩き始めると、何と川面に映った姿は恐ろしい鬼の姿であった。綱は「魔性の者、本性を現せ」とつめより大立ち回りになる。

本作品は、大江山の鬼退治で有名な源頼光の家来を主人公とし、鬼女との出会いを描いた舞踊劇です。美女が一瞬にして鬼女に、そしてまたすぐ美女にもどる“ガブ”や、激しい立ち回りをお楽しみに。

## ■『ふれあい文楽教室』

初心者向けの文楽教室です。詳しい解説の後に見る文楽は格別です。

■主 催：南房総市教育委員会 ■主 管：NPO法人富浦エコミューゼ研究会  
■後 援：南房総市観光協会・南房総市内房商工会・南房総市朝夷商工会  
館山市教育委員会・鴨川市教育委員会・鋸南町教育委員会

※公演時間にご注意ください。開場は公演の30分前です。



### ●出演者

太 夫 竹本津駒大夫 豊竹芳穂大夫  
三味線 竹澤宗助 鶴澤清丈 豊澤龍爾  
人形 桐竹勘十郎 ほか9名  
おはやし 仙波大明 仙波宏多  
笛 福島徹彦

## 8月11日(火)

昼の部 14:00~ 夜の部 19:00~

当日券:1800円 前売予約券:1500円

公演場所 南房総市とみうら元気倶楽部

●南房総市富浦町原岡88-2 ●

前売予約は ☎0470-33-3411へ